

決算報告 津和野町の財政状況をお知らせします

平成23年度 津和野町一般会計・特別会計

昨年度に引き続き黒字

平成23年度の津和野町一般会計および特別会計の決算が承認されました。一般会計については約5千6百万円の黒字、実質公債比率も昨年より1.8ポイント改善するなど町の財政状況は改善の方向へ向かっています。

5千6百万円の黒字

平成23年度一般会計決算額は、5,616百万円の黒字となりました。歳入総額が80億5,784万円、歳出総額が80億1,688万円となっています。

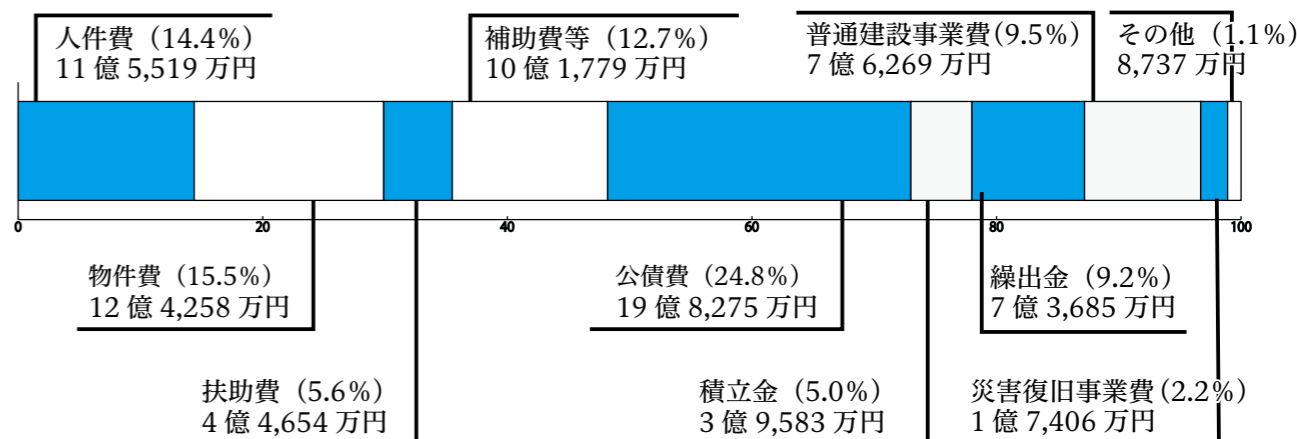
歳入は、自主財源（※1）と依存財源（※2）に分けることができますが、平成23年度の自主財源の割合は約16%で、その内町税が最も多く約7億4,200万円（9.2%）、続いて、諸収入1億6,704万円4千円（2.1%）、使用料及び手数料1億3,511万円8千円（1.7%）、繰越金1億9,500万円（1.4%）、財産収入4,237万5千円（0.5%）となっています。

多くを交付金に依存

依存財源の割合は、約84%で、そのうち国から交付される地方交付税が最も大きく46億3,777万9千円、国庫支出金5億9,695万8千円、町の借金である町債が8億6,899万5千円、県支出金4億9,609万円となっています。また、性質別の歳出では、最も多いのは公債費の約19億8,275万円、物件費、人件費と続いています。（下のグラフ参照）



■平成23年度歳出性質別構成



■健全化判断比率の状況 ※算定されない場合は「-」を記載。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成23年度	-	-	17.2%	118.6%
早期健全化基準	14.81%	19.81%	25.0%	350.0%

※1自主財源・・・町が独自に調達できるお金
 ※2依存財源・・・地方交付税など自主財源以外のお金

■平成24年度一般会計予算執行状況 平成24年9月末時点、単位は千円

【歳入】	科目	予算額	収入済額	【歳出】	科目	予算額	支出済額
	町税	697,340	556,429		議会費	94,053	50,920
	地方譲与税	71,000	22,526		総務費	1,433,601	360,100
	利子割交付額	2,200	762		民生費	1,367,614	419,914
	配当割交付金	600	255		衛生費	808,172	274,217
	株式等譲渡所得割交付金	200	0		労働費	1,010	511
	地方消費税交付金	70,000	40,018		農林水産費	380,439	70,642
	自動車取得税交付金	10,000	5,094		商工費	208,972	82,588
	地方特例交付金	6,000	1,297		土木費	645,610	93,352
	地方交付税	4,210,000	3,021,523		消防費	333,158	103,418
	交通安全対策特別交付金	800	493		教育費	1,080,536	292,549
	分担金及び負担金	64,459	23,363		災害復旧費	150	0
	使用料及び手数料	143,959	67,963		公債費	1,510,610	538,475
	国庫支出金	570,568	128,119		諸支出	83	0
	県支出金	395,037	35,026		予備費	4,727	0
	財産収入	34,282	19,642		合計	7,868,735	2,286,686
	寄付金	3,004	1,420				
	繰入金	19,861	0				
	繰越金	40,275	40,275				
	諸収入	106,854	19,645				
	町債	1,422,296	0				
	合計	7,868,735	3,983,850				



津和野共存病院の平成23年度の経営状況について

【評価】 町民の皆様のご健康維持に必要な医療を提供することを目的として、十分なサービスが提供されるよう接遇研修を行うなど利用者のサービス向上に努めています。また安全管理面、衛生管理面なども良好で、指定管理者の努力が伺える管理体制になっています。しかし、医師・看護師不足から厳しい労働環境が続いており、現時点においては療養病床の再開は厳しく、引き続き医師・看護師の確保対策が重要であり取り組みを強化していきます。収支においては、医師と地域連携室とで病状を見て在院日数を調整するなど増収に努め、支出面では、医療材料や消耗品について、入札方式を取り入れるなど経費削減を実施しております。

平成23年度の病院事業については、医療法人橋井堂を指定管理者として津和野共存病院の管理運営を行いました。利用代行制を導入し、診療報酬等は町の収入となり、指定管理者には、人件費等の経費を診療報酬交付金として支払いました。当年度純利益は545万8,471円(税抜)となり、資本的収入では1,775万3,333円の資金不足が生じ、過年度分損益勘定留保資金で補填しています。

	収益的(円)	資本的(円)
収入	7億3870万1626	6419万6234
支出	7億3324万3155	8194万9567
差額	545万8471	△1775万3333

区分	平成23年度	
	目標(プラン)	実績
経常収支比率	101.4%	100.7%
入院患者数	14,600人	13,171人
病床利用率	90.0%	72.0%
一日当たり入院単価	21,400円	26,016円
外来患者数	33,396人	27,673人
一日当たり外来単価	6,200円	6,856円

※1 経常収支比率：病院事業会計の経常費用に対する経常収益の割合。100%以上で黒字
 ※2 病床利用率：「病床数(休止病床除く)」に対する延べ入院患者数の割合として算出。(病院の施設が有効に活用されているかどうか判断する指標)

す。津和野共存病院は、町内唯一の入院施設として益田圏域の中核病院である益田赤十字病院の5疾病5事業における回復期医療などの機能を担っています。救急時においては、医師不足などから救急告示を取り下げていますが、現実には電話対応を含め、初期の段階の救急患者や比較的軽度の症状の救急患者については、救急医療体制を維持し、救急搬送人員の4割を受け入れており、圏域内の救急医療に対して一定の成果を上げています。

■町民負担の概況

税目	金額	一人当たりの金額	手数料		使用料	
			費目	金額	費目	金額
個人町民税	2億1,979万4千円	26,784円	総務手数料	722万1千円	総務使用料	753万2千円
法人町民税	3,681万円	4,420円	衛生手数料	1,703万円	衛生使用料	447万円
固定資産税	4億737万2千円	49,625円	商工手数料	6万5千円	商工使用料	1,033万5千円
軽自動車税	2,036万9千円	2,476円	地籍手数料	2千円	土木使用料	4,870万1千円
市町村たばこ税	3,950万5千円	4,717円	合計	2,431万8千円	教育使用料	3,976万2千円
入湯税	453万円	541円			合計	1億1,080万円
合計	7億2,838万円	88,563円				

■平成23年度特別会計決算額

科目	歳入①	歳出②	差引(①-②)
国民健康保険特別会計	10億8,644万7千円	10億8,413万9千円	230万8千円
介護保険特別会計	12億9,188万4千円	12億7,871万円	1,317万4千円
後期高齢者医療特別会計	2億8,019万2千円	2億8,012万3千円	6万9千円
簡易水道事業特別会計	4億1,471万3千円	4億1,282万6千円	188万7千円
下水道事業特別会計	3億2,974万1千円	3億2,751万3千円	222万8千円
農業集落排水事業特別会計	573万4千円	567万3千円	6万1千円
奨学基金特別会計	1,386万4千円	1,386万4千円	0円
電気通信事業特別会計	8,392万9千円	8,265万7千円	127万2千円
診療所特別会計	1億1,225万4千円	9,823万7千円	1,401万7千円
介護老人保健施設事業特別会計	5億628万2千円	4億8,933万1千円	1,695万1千円
合計	41億2,504万円	40億7,307万3千円	5,196万7千円

■基金の状況(普通会計) 一人あたりの金額32万7,968円

名称	年度当初残高	年度中積立額	年度中取崩額	年度末残高
財政調整積立金	13億1,174万5千円	1億5,130万2千円	0円	14億6,304万7千円
減債積立金	4億3,602万7千円	3,435万1千円	0円	4億7,037万8千円
特定目的基金	6億814万2千円	2億1,019万7千円	503万2千円	8億1,330万7千円
合計	23億5,591万4千円	3億9,585万円	503万2千円	27億4,673万2千円

■財政分析数値

H23年度決算()内は対前年比との増減			
経常収支比率	86.9% (▼0.1)	実質収支比率	1.0% (▼0.5)
公債費比率	31.2% (▼1.0)	財政力指数	0.168% (▼0.002)
人件費比率	20.7% (△0.4)	実質公債費比率	17.2% (▼1.8)
物件費比率	10.8% (△0.5)		
標準財政規模	53億217万円 (▼1億5,887万8千円)		

■資金不足比率の情報

簡易水道事業、下水道事業、農業集落排水事業、病院事業の資金不足比率については、算定されていません。